

環境学委員会・地球惑星科学委員会
FE・WCRP 合同分科会 CliC 小委員会
(第 24 期・第 1 回)

議事録

日時：2018 年 5 月 21 日（木）12:30～13:30

場所：クロスウェーブ幕張 ミーティングルーム

参加委員（五十音順・敬称略）：東久美子、阿部彩子、飯島慈裕、榎本浩之、
斉藤和之、杉山慎、竹内望、羽角博康、檜山哲哉

スカイプ参加：伊勢武史、杉本敦子、西村浩一、山内恭

議題

●定足数確認

18 名の委員のうち、13 名の出席で定足数が満たされていることが報告された。

1. 議題

本会の議題について、配布資料に基づいて、榎本委員長から説明があり、議論がなされた。

(1) 委員長・幹事・新規委員の承認

第 24 期の委員長として、第 23 期から榎本委員長が継続することで承認された。CliC の SSG の任期と対応しており、SSG 委員は 2019 年 1 月までの任期であるため、今後変わる可能性がある旨が報告された。

第 24 期の幹事として、第 23 期から飯島委員、杉山委員が継続することで承認された。

また、第 24 期からの新規委員として、斉藤委員の加入が承認された。

(2) 前回議事録（第 23 期・第 3 回、平成 29 年 5 月 22 日開催：参考資料 1）の承認

第 24 期の議事録についてはメールで委員内回覧のうえ、修正は委員長一任で承認することとする

(3) 環境学委員会・地球惑星科学委員会 FE・WCRP 合同分科会の委員会構成についての報告（資料 2、3 参照）

(4) CliC SSG14th Session (2018)の報告 (資料 4、参考資料 2 参照)

平成 30 年 2 月 6 日, Online Meeting として開催.

出席者 : 8 名、SSG メンバー 5 名と事務局 2 名、WCRP のスタッフ 1 名

日本からの出席は、極地研榎本 (SSG メンバー)

主な報告点 :

- ・ SSG メンバーの交代。12 名の SSG メンバーのうち、任期満了により 3 人の交代が予定されている。

- ・ CliC IPO (International Project Office) の次期 Host の募集がされている。現在はノルウェー極地研が IPO を支援しているが、継続支援が不明なため他国への募集を呼びかけている。現行では、中国・青島の海洋研究所？が引継ぎの意思表示をしている。

- ・ WCRP Strategy (2019-2029 年) が、2018 年 1 月にドラフトが完成し、6 月に修正案が出るとのこと。特に「Society」への貢献に Focus した記述が多いが、どう具体的なアクションプランにつながるかは課題。

関連して、CliC は 2017-2021 Action Plan を策定している (参考資料 3)

- ・ 2018 年 6 月開催の Davos の POLAR18 にて SSG の Informal Meeting 予定。

(5) CliC が後援した国内開催の国際学会についての報告

- ・ 竹内委員 : International Symposium on ‘Cryosphere and Biosphere’ (ISCB)

2018 京都 (2018 年 3 月 14~19 日)

- ・ 飯島委員 : The 2nd Asian Conference on Permafrost (ACOP2017)

札幌 (2017 年 7 月 2~6 日)

ACOP 会議報告が CliC のニュースレターに掲載された。

議論・コメント :

斉藤委員 : CliC への日本からの提案がこれまで少ないことに関連して、Asia の若い研究者が集まり、チベット高原の凍土マッピング、モデリング等の議論の場ができたかどうか、という提案 (2017 年 CliC SSG で提案の Permafrost Modeling Forum に関連)

阿部委員 : IPCC AR6 に High Mountain の章が新設される。これは、海洋と雪氷圏に関する特別報告書(Special Report on Ocean and Cryosphere : SROCC)で扱われる。

榎本委員長 : IPCC AR6 の SROCC は 6 月末まで、査読期間があるので、チェックをお願いしたい。今回は、WG1、WG2 が共同で、人間社会にどう関係する

かが執筆される。

山内委員：Global Cryosphere Watch(GCW)との関係はどうなっているのか？

榎本委員長：CliC のなかでは GCW は紹介されるが、CliC としての活動はない。メンバーが個別に参加している。

檜山委員：iLEAPS/CliC の合同ジョイントセッションを今後の CliC 関係の会議でも盛り込むべきである。FE とのかかわりについては、JpGU でのセッション（2018 年 5 月 20 日開催）を受けて、今後は年 1 回程度の頻度で各小委員会の合同の会合を働きかける方針（FE・WCRP 分科会が音頭を取る）。地域を 3 つに分ける案がある（高緯度（CliC はここに関係する）、アジアモンスーン、海洋）。